

# (社)日本詩人クラブ 2020年 2月例会のお知らせ

## —日本詩人クラブ創立70周年記念イベント—

日時 2020年2月8日(土) 14時～17時 会費500円(会員・会友も)

会場 早稲田奉仕園 リバティホール

\* 例会終了後(17時～19時)、交流会を予定(サイゼリヤ) 会費3,000円

詩朗読 & スピーチ 青山いさお氏(練馬区) 大久保しおり氏(千葉市)  
浅木 萌氏(甲府市)

### 講演「悲しみと喜びを 言語化してかがやく良寛的世界」

中野東禅氏

「苦という存在の特性と、滅という覚めた心との間を言語化することで人生は意義あるものになる」というのが「法華経十五従地涌出品」の心であり、道元の「正法眼蔵・自証三昧」の主張です。「語り給え、聞き給え」その時、人は教えつつ学び、学びつつ教えているのだと。良寛さんの生き方と、言語表現力は、まさにその精神の実現だったのだ、と味わわせて頂いています。

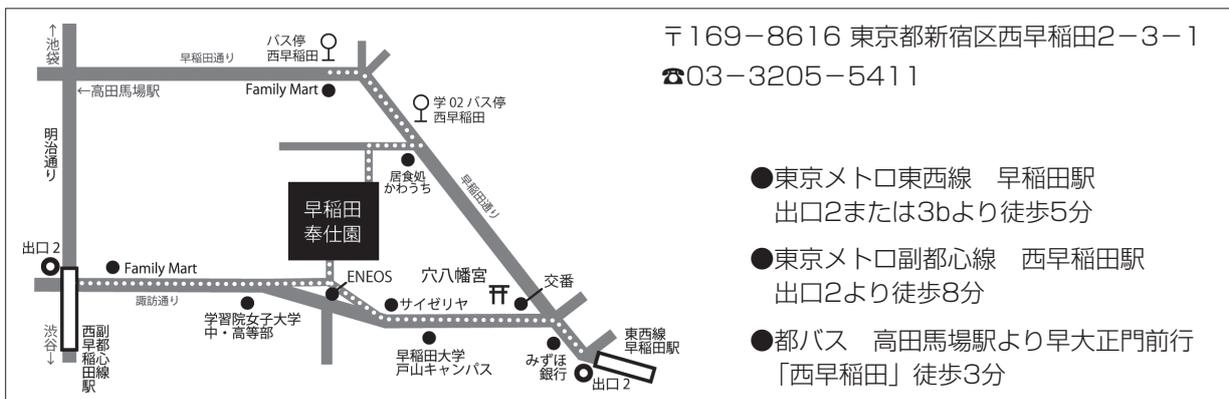
講師プロフィール 中野東禅氏(昭和14年、静岡県生まれ) 駒沢大学大学院修士修了。曹洞宗教化研修所講師、武蔵野大学、大正大学等で「生命倫理」「死生学」等担当。「日本死の臨床研究会」「日本生命倫理学会」「臨床宗教師会」等の世話人など担当。現在・可睡齋僧堂西堂。

### スピーチと朗読『アンバル・パスト詩集』より

細野 豊氏

アンバル・パスト: 1949年米国ノースカロライナ州生まれの女性詩人。1974年に、人間の社会的価値が所有する財産の多寡で計られる母国を捨て、幼少のころから憧れていたメキシコ国のチアパス州へ移住。その地の先住民たちと親しく交流しつつ、スペイン語で詩を書き、40年余り暮らしたが、数年前からインドのヒマラヤ地方の小村や人里離れた洞窟などで、清貧と瞑想による修行などの生活を送っている。2008年と2019年の2回来日して講演等を行った。詩集に『ウラカーナ(女ハリケーン)』『ムンダ 第一のムンダ』ほか。

講師プロフィール 細野豊氏(1936年神奈川県横浜市生まれ) 1958年東京外国語大学スペイン語科卒業。通算17年余りラテンアメリカ諸国(ブラジル、ボリビア、メキシコ)に滞在。詩誌「ERA」「饗宴」「歷程」同人。日本詩人クラブ、日本現代詩人会、日本文藝家協会会員。2013年～15年日本詩人クラブ会長。詩集に『女乗りの自転車と黒い診察靴』『DIOS EN REBELDÍA(反逆の神々)』ほか。訳詩集に『アンバル・パスト詩集』『ロルカと二七世代の詩人たち』(第8回詩界賞)ほか。



例会担当理事 谷口典子